

やさしい日本語の現在地 ～混乱を超えて共生社会へ～

明治大学教授 山脇啓造

2025年9月26日
多文化共生セミナー

やさしい日本語をめぐる混乱

- 混乱1：外国人のための初級日本語
(例：NHK)
- 混乱2：プレーン・ジャパニーズ
(Plain Language)
- 混乱3：多文化共生社会の「共通言語」
「簡易日本語」の強制？

やさしい日本語の課題

- 課題1: 書き言葉の易しさのレベルは？
- 課題2: 情報の多言語化とのバランスは？
多言語化を回避する言い訳？
- 課題3: 日本語教育の体制が未整備な中で
やさしい日本語を推進するのは
外国人の「二級市民」化？

やさしい日本語とは

- やさしい日本語は一律の簡易化でも情報の多言語化や日本語教育の代替でもなく、相手と状況に応じた配慮の実践であり、同時に多文化共生社会の構築に向けた一つ的手段
- やさしい日本語は、ユニバーサル・デザインの理念を言語に応用した、使い手による配慮の実践

やさしい日本語の将来

- 日本の新たな強みとなり、グローバル化が進む中で世界に誇れる取り組みへと発展する可能性
- やさしい日本語を *Yasashii Nihongo* として世界に発信し、日本社会が多様性と包摂性を備えたモデルとなる？